



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 ケイヒン株式会社
 コード番号 9312 URL <https://www.keihin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 杉山 光延
 (氏名) 荒井 正俊
 TEL 03-3456-7825

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	11,697	△2.2	652	28.8	721	29.7	505	27.3
2020年3月期第1四半期	11,956	△6.2	507	25.6	556	10.0	397	25.1

(注)包括利益 2021年3月期第1四半期 488百万円 (△9.1%) 2020年3月期第1四半期 536百万円 (161.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	77.41	—
2020年3月期第1四半期	60.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	41,094	18,330	44.6
2020年3月期	41,538	18,168	43.7

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 18,330百万円 2020年3月期 18,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	23,100	△2.1	1,050	15.4	1,100	14.3	750	114.87
通期	46,400	△2.7	1,900	0.0	1,955	0.2	1,420	217.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期1Q	6,536,445 株	2020年3月期	6,536,445 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	7,335 株	2020年3月期	7,325 株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期1Q	6,529,117 株	2020年3月期1Q	6,529,219 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響により、国内外の経済活動が抑制され、非常に厳しい状況となりました。

このような環境の中、当社グループにおいては、国内物流事業は、倉庫保管、流通加工、配送の取扱いが増加し、増収増益となりましたが、国際物流事業は、輸出入貨物、プロジェクト貨物、輸出車両の海上輸送、港湾作業の取扱いが減少し、減収減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は116億9千7百万円（前年同期比2億5千8百万円の減収、2.2%減）となりましたが、国内物流事業の増収効果により、営業利益は6億5千2百万円（前年同期比1億4千5百万円の増益、28.8%増）、経常利益は7億2千1百万円（前年同期比1億6千5百万円の増益、29.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億5百万円（前年同期比1億8百万円の増益、27.3%増）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比増減（△印減）	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	7,493	8,049	555	7.4
国際物流事業	4,698	3,883	△815	△17.3
セグメント間内部売上高	△236	△235	1	—
合 計	11,956	11,697	△258	△2.2

国内物流事業

国内物流事業におきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う巣ごもり需要により、宅配関連商品や食料品等の貨物取扱いが増加しました。

倉庫業は、保管残高が増加し、売上高は17億1千6百万円（前年同期比4.4%増）、流通加工業は、取扱いが増加し、売上高は18億6千8百万円（前年同期比17.3%増）、陸上運送業は、一般貨物輸送の取扱いは減少しましたが、配送取扱件数が増加し、売上高は42億5千7百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は80億4千9百万円（前年同期比5億5千5百万円の増収、7.4%増）、営業利益は9億2千8百万円（前年同期比2億3千万円の増益、32.9%増）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、新型コロナウイルス感染症による海外諸国での様々な規制等に伴うサプライチェーン停滞の影響により、貨物取扱いは厳しい状況となりました。

国際運送取扱業は、海運貨物、プロジェクト貨物、輸出車両の海上輸送の取扱いが減少し、売上高は32億5百万円（前年同期比17.9%減）、港湾作業は、船内荷役・沿岸荷役とも減少し、売上高は4億3千万円（前年同期比26.2%減）となりました。

航空運送取扱業は、取扱いは減少しましたが、減便に伴う航空貨物輸送スペースの供給不足から運賃が上昇し、売上高は2億4千7百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は38億8千3百万円（前年同期比8億1千5百万円の減収、17.3%減）、営業利益は1億1百万円（前年同期比7千8百万円の減益、43.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して4億4千4百万円減少し410億9千4百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び営業未収金が増加したものの、現金及び預金の減少等により流動資産が3億2千4百万円減少したことや、有形固定資産の減価償却の進捗等により固定資産が1億1千5百万円減少したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末と比較して6億6百万円減少し227億6千3百万円となりました。この主な要因は、財務基盤の強化を目指し、有利子負債の削減を進めたことに伴い、短期借入金、長期借入金が合わせて7億8千7百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して1億6千1百万円増加し183億3千万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

総資産の減少以上に負債が減少したことにより、自己資本比率は、前連結会計年度末の43.7%から44.6%へ改善した一方で、借入金依存度は、前連結会計年度末30.4%から28.9%へ低下しました。

決算年月	2019年6月	2020年6月	2020年3月
自己資本比率 (%)	42.7	44.6	43.7
借入金依存度 (%)	31.1	28.9	30.4

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループの事業活動に与える影響が不透明であり、合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき業績予想を算定いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,637	4,075
受取手形及び営業未収金	5,192	5,437
電子記録債権	234	256
その他	1,048	1,018
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	11,108	10,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,366	47,388
減価償却累計額	△33,334	△33,610
建物及び構築物（純額）	14,032	13,778
機械装置及び運搬具	3,370	3,370
減価償却累計額	△2,472	△2,512
機械装置及び運搬具（純額）	898	858
工具、器具及び備品	2,567	2,628
減価償却累計額	△2,156	△2,188
工具、器具及び備品（純額）	411	440
土地	6,809	6,809
リース資産	1,173	1,230
減価償却累計額	△513	△531
リース資産（純額）	659	699
建設仮勘定	30	19
有形固定資産合計	22,842	22,605
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	507	485
無形固定資産合計	1,484	1,462
投資その他の資産		
投資有価証券	4,944	5,107
繰延税金資産	248	229
その他	892	892
貸倒引当金	△40	△41
投資その他の資産合計	6,044	6,188
固定資産合計	30,371	30,256
繰延資産		
社債発行費	58	54
繰延資産合計	58	54
資産合計	41,538	41,094

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,141	4,295
短期借入金	4,372	3,974
1年内償還予定の社債	200	200
リース債務	202	206
未払法人税等	384	193
その他	1,690	1,698
流動負債合計	10,992	10,568
固定負債		
社債	4,300	4,300
長期借入金	3,771	3,382
リース債務	517	558
繰延税金負債	36	213
役員退職慰労引当金	958	944
退職給付に係る負債	2,431	2,436
その他	361	360
固定負債合計	12,377	12,195
負債合計	23,370	22,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	7,871	8,050
自己株式	△13	△13
株主資本合計	17,649	17,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	874	893
為替換算調整勘定	△271	△313
退職給付に係る調整累計額	△83	△78
その他の包括利益累計額合計	518	501
純資産合計	18,168	18,330
負債純資産合計	41,538	41,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	11,956	11,697
売上原価	10,970	10,575
売上総利益	985	1,122
一般管理費	478	469
営業利益	507	652
営業外収益		
受取利息及び配当金	114	115
その他	10	7
営業外収益合計	124	123
営業外費用		
支払利息	31	26
為替差損	24	17
その他	19	10
営業外費用合計	75	54
経常利益	556	721
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産処分損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	556	721
法人税、住民税及び事業税	123	172
法人税等調整額	35	44
法人税等合計	159	216
四半期純利益	397	505
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	397	505

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	397	505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	19
為替換算調整勘定	1	△41
退職給付に係る調整額	16	4
その他の包括利益合計	139	△17
四半期包括利益	536	488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536	488
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,285	4,670	11,956	—	11,956
セグメント間の内部売上高 又は振替高	208	27	236	△236	—
計	7,493	4,698	12,192	△236	11,956
セグメント利益	698	180	879	△372	507

(注) 1 セグメント利益の調整額△372百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△372百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,841	3,856	11,697	—	11,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	207	27	235	△235	—
計	8,049	3,883	11,933	△235	11,697
セグメント利益	928	101	1,030	△377	652

(注) 1 セグメント利益の調整額△377百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△377百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(重要な契約の解消)

当社は、2020年8月7日開催の取締役会において、2021年8月20日をもって日本生活協同組合連合会との間で締結している通販事業に関する業務委託契約を解消することを決議いたしました。

1. 契約解消に至った経緯

日本生活協同組合連合会において物流センターを移転することとなったことに伴い、両者間で協議を重ねた結果、合意に至ったものであります。

2. 契約解消の内容

(1) 取引先名

日本生活協同組合連合会

(2) 取引の種類

通販事業に関する流通加工・配送業務等の受託

(3) 本件受託業務に係る同会に対する売上高および当社連結売上高に対する割合

売上高：7,295百万円 割合：15.3% (2020年3月期の年度実績)

(4) 契約解消予定日

2021年8月20日

3. 当該事象の業績に与える影響

2021年3月期の業績に影響はありません。